

藤女子大学
日本語・日本文学会
&
日本語・日本文学科

● 『キッチン』 から 『カツネ』 へ

～ 1980年代から現代までの
「食」と人間関係を扱った作品の変遷 ～
(日本語・日本文学会 学生運営委員)

● その日本語どう書く？

～ チョット面白い日本語表記の世界 ～
(日本語・日本文学科教員シンポジウム)

6階
651教室
13:00-
14:30

【発表&シンポジウム概要】

- ・ 誰にとっても身近な「食べること」は、日本の現代文学作品の中でどのように描かれ、どのような役割を果たしてきたのでしょうか。食事描写の系譜をたどりつつ、それらが映し出す家族像や共同体の変化についてご紹介します。
- ・ 日本語の表記は、漢字、ひらがな、カタカナなどの複数の文字体系を組み合わせ用いる、世界的にも珍しい特徴を持っています。本シンポジウムでは、多様な視点から日本語を研究する教員が、それぞれの専門的立場から「日本語の表記」について語り合います。